



振動応用技術で、世界をひらく

高周波 48V シリーズ コードリール 取扱説明書



ER8030

★お買い上げありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

エクセン株式会社

☆ 安全情報

- ☆ この製品は高周波バイブレータ 48V シリーズの電源延長用ケーブルと分電盤を一体化したケーブル延長用のコードリールです。高周波バイブレータ 48V シリーズの電源を延長する目的以外では使用しないでください。
- ☆ 製品の安全性については十分に配慮していますが、この説明書の危険、警告、注意をよくお読みいただき正しくお使いください。また、高周波 48V バイブレータと電源機器の取扱説明書もよくお読みください。
- ☆ 下記の表示は万一にも他人や自分に障害や損害を与えることのないように、この製品を使用していただくための危険表示・警告表示・注意表示です。



危険

(DANGER)

【危険】は、死亡または重傷を負う可能性のある切迫した危険な状況を示す表示



警告

(WARNING)

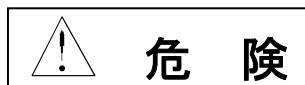
【警告】は、死亡または重傷を負う可能性のある危険な状況を示す表示



注意

(CAUTION)

【注意】は、軽傷または中程度の障害を負う可能性のある危険な状況を示す表示



(死亡事故を受けないために)

- ⚠ この製品は水・湿気・塵などのある場所では使用しないでください。感電する恐れがあります。
- ⚠ この製品は高周波 48 V 専用です。48 V 以外の電源では使用しないでください。感電する恐れがあります。
- ⚠ 電源の通電中におけるプラグの抜き差しは行わないでください。感電する恐れがあります。
- ⚠ この製品を移動する場合は必ず電源を切ってください。感電する恐れがあります。



(障害や損害を受けないために)

- ⚠ ケーブルをドラムに巻いた状態で使用するとケーブルが発熱します。
ケーブルは全部引き出した状態で使用してください。
- ⚠ 使用機器のプラグとコードリールのコンセントは確実に接続してください。
接触不良になると発熱・火災の原因になります。

○ ま え が き

このたびは高周波バイブレータの電源延長用コードリールE R型をお買い上げいただきありがとうございます。

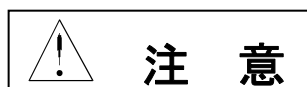
ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

この製品の性能を十分に理解して適切な取り扱いと点検整備を行い、いつまでも安全に効率よく使用されるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

も く じ

☆ 安 全 情 報	1
○ ま え が き	3
○ 安 全	4
○ 各部の名称	6
○ システム構成	7
○ 接続方法	8
○ 使用後の清掃	9
○ 点 検	9
○ 故障診断	10
○ 仕様・製品寸法	10

○ 安 全



(作業上身を守るために)

- バイブレータを使用する場合は安全帽・防振手袋・安全靴・顔面保護具（保護メガネ・マスク）および墜落制止用保護具を着けて、安全な装備で行ってください。



安全帽着用



防振手袋着用



安全靴着用

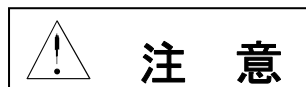


顔面保護具着用



墜落制止用保護具着用

- この製品を点検する場合は電源機器からプラグを必ず抜いてください。感電する恐れがあります。
- この製品を電源に接続する場合は必ず電源のブレーカを“OFF”にしてください。感電する恐れがあります。
- この製品を移動する場合は必ず電源を切ってください。感電する恐れがあります。



(末永く使用していただくために)

- プラグは接触不良にならないよう確実に接続してください。接触不良はバイブレータが故障する主な原因の一つです。
- この製品の接続可能台数は許容電流を厳守してください。
「バイブレータ使用可能台数」を参照してください。
- ケーブルを引き出す場合は、強い力で引っ張らないでください。導体が断線する恐れがあります。
- ケーブルの上に重いものを乗せたり落としたりしないでください。ケーブルが断線して故障する恐れがあります。

■バイブレータ使用可能台数

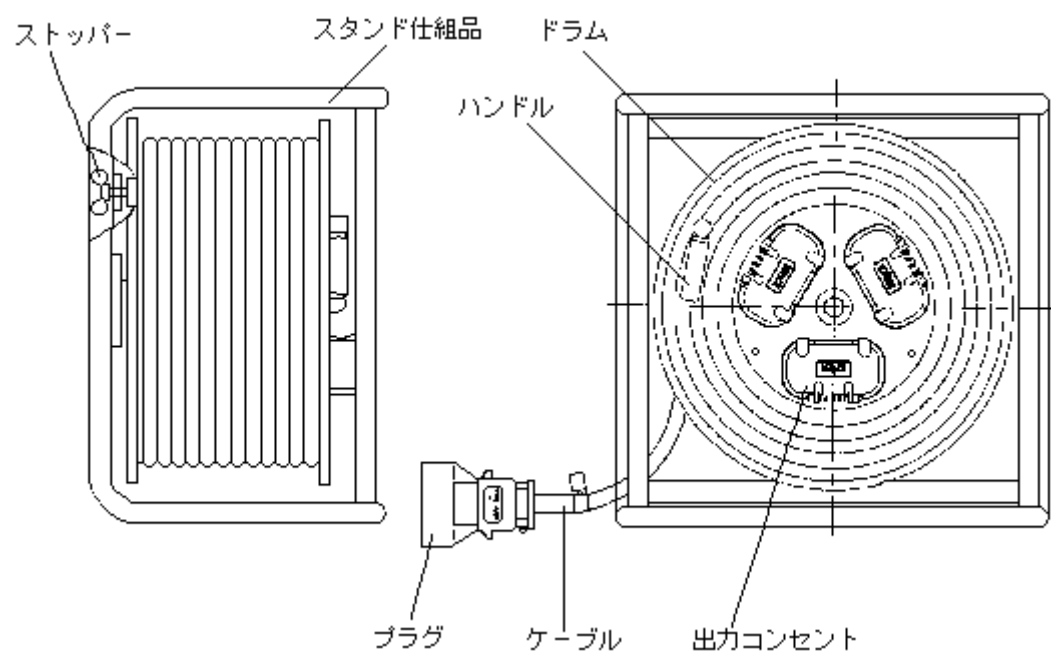
型式	高周波 48V インナーバイブレータ			
	30, 40	50	60	70
ER8030	3	3 (2)	2 (1)	1

※ バイブレータは3台まで使用できますがプラグの許容電流は30Aです。

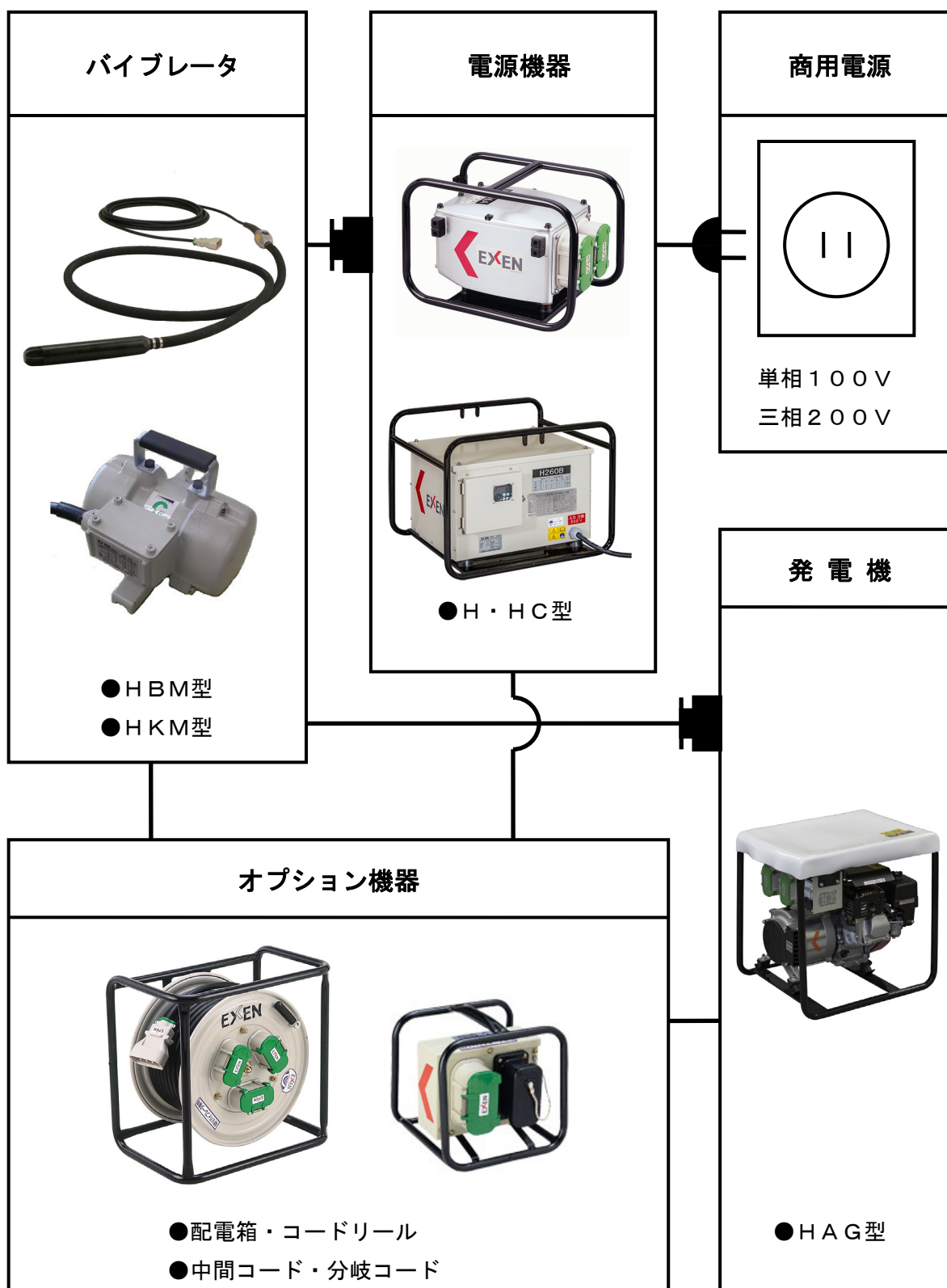
合計で30Aを越えないようにしてください。

※ 表中 () 内の数字は、バイブレータが同時に連続過負荷の状態で使用したときを想定した使用可能台数です。

○ 各部の名称



○ システム構成



○ 接続方法

 この製品を接続する場合は必ず電源機器のスイッチが“OFF”であることを確認してください。電源機器が運転中に接続作業を行うと感電する恐れがあります。

1. この製品を接続する電源機器のスイッチが“OFF”であることを確認します。
2. ストッパーを緩めドラムを開放状態にします。
3. ケーブルは全部引き出して使用してください。
※ ケーブルを全部引き出し、発熱を防止してください。
4. プラグを電源機器の出力コンセントに接続します。
5. 高周波バイブレータのプラグをコードリールの出力コンセントに接続します。
6. 電源機器のスイッチを“ON”にした後、バイブレータのスイッチを“ON”にします。
7. 作業が終了した場合はバイブレータのスイッチを“OFF”にした後、電源機器のスイッチを“OFF”にします。
8. バイブレータのプラグをコードリールの出力コンセントから抜いた後、コードリールのプラグを電源機器の出力コンセントからはずします。
9. コードリールのハンドルを右に回しケーブルを完全に巻き取ってください。
10. ストッパーを締めドラムを固定します。

○ 使用後の清掃

- 使用後はきれいに清掃してケーブルを巻き取ってください。
- 1. スタンド仕組品・ドラムおよびケーブルに付いたコンクリートは固まる前に落してください。
- 2. ケーブルのプラグや、コードリールの出力コンセントに付いたほこりやコンクリートはきれいに落してください。
- 3. 持ち運びはケーブルを完全に巻き取り、ストッパーでドラムを固定してから運んでください。

○ 点 検

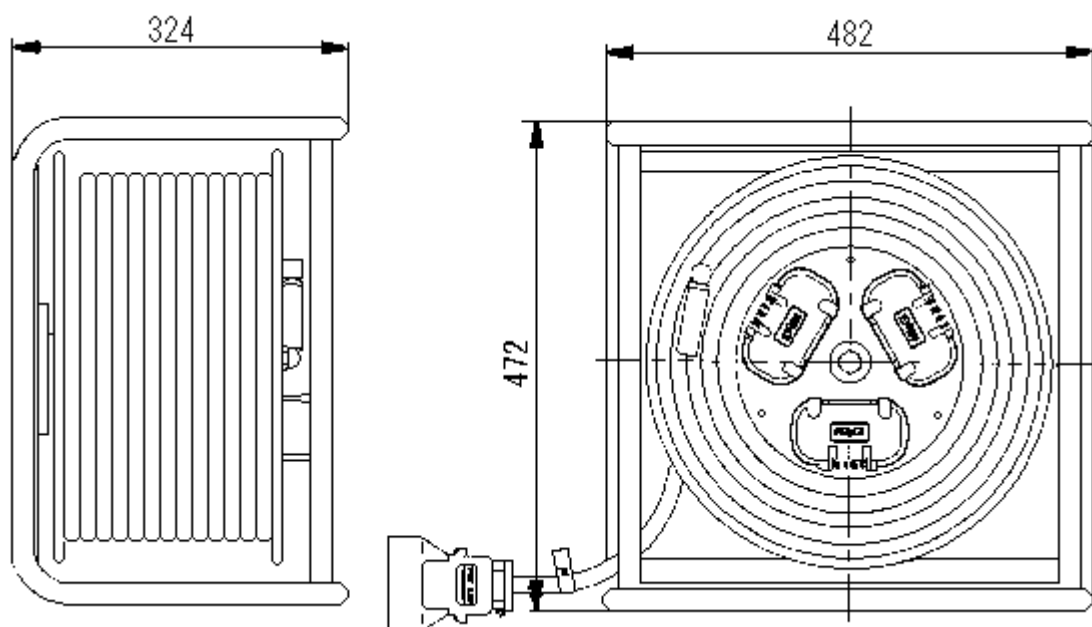
- この製品は定期的に必ず次の項目を点検してください。使用中のトラブルをできるだけ少なくするためです。
- 1. プラグや端子に汚れや錆など発生していないか？
- 2. 出力コンセントの接続子に汚れや摩耗など発生していないか？
- 3. ケーブルに著しい摩耗や亀裂など発生していないか？

○ 故障診断

症 状	原 因	処 置
パイプレータが運転できない	ケーブルの断線	修理または交換
	プラグとコンセントの接触不良	接続のやり直し
	プラグ内部の接続不良	修理

○ 仕様・製品寸法

型 式	使用ケーブル		電 圧	許容電流	出力コンセント数	質 量
ER8030	30m	2CT 8mm ² ×3 芯	48V	30A	3	27.2kg





本社	〒105-0013	東京都港区浜松町 1-17-13	TEL 03-3434-8455	FAX 03-3434-1658
草加工場	〒340-0003	草加市稲荷 5-26-1	TEL 048-931-1111	FAX 048-935-4473

<https://www.exen.co.jp/>